

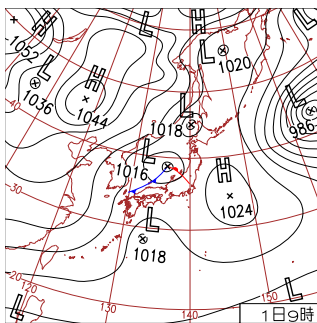
日々の天気図

No. 120

2012年 1月

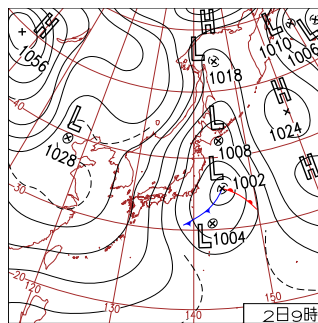
- ・ 4日、福井県などで日降雪量が50cmを超える。
- ・ 15日、全国的に冷え込むが、沖縄では暖気の流入により、宮古空港26.5℃など各地で夏日。
- ・ 20日、東京・横浜で初雪。また北日本は冷え込み、北海道旭川市で-30.3℃を観測。

(気象庁予報部予報課)



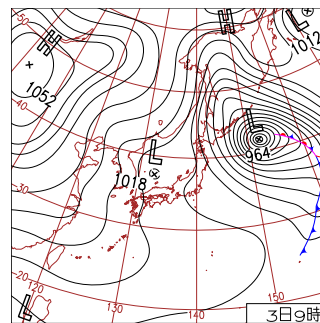
1日(日) 曇り空の年明け

低気圧や前線の接近により日本海側は雨や雪、北陸では雷も。朝は全国的に曇った所が多く、初日の出が見えたのは本州や北海道の一部のみ。日中の気温は全国的に平年並。



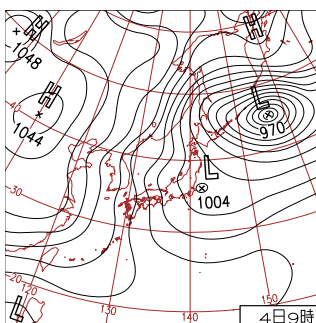
2日(月) 冬型で厳しい寒さ

日本の東海上で低気圧が急速に発達、冬型の気圧配置となり、日本海側で雪や雨。風がやや強く、日中の気温も上がらず。西～東日本の各地では厳しい寒さ。高知で初雪。



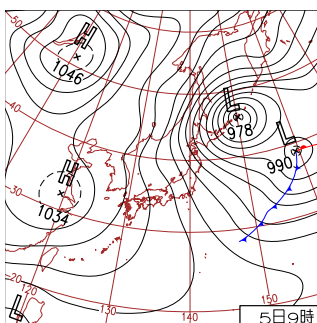
3日(火) 北海道で強風

発達中の低気圧の影響で北海道を中心に風が強く、東部の羅臼では最大瞬間風速36.8m/sを観測。最高気温は平年より1～2℃低い所が多く、全国的に寒い1日。



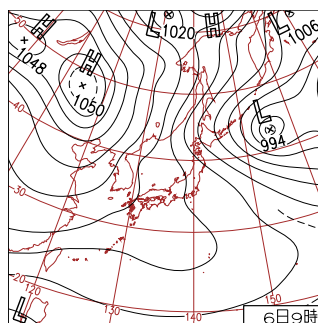
4日(水) 北陸などで大雪

寒気を伴った気圧の谷が通過し、山陰～北陸を中心に雷を伴って降雪が強まる。日降雪量は福井県大野市九頭竜54cm、長野県野沢温泉52cm。高松市で平年より16日早くウメ開花。



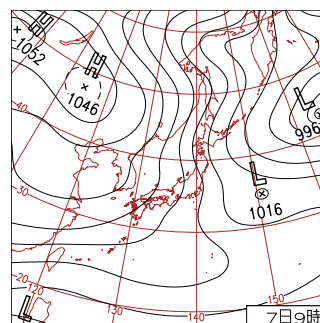
5日(木) 西から次第に冬型緩む

西から次第に移動性高気圧に覆われて冬型緩むが、東～北日本は強い冬型気圧配置で日本海側中心に降雪続く。太平洋側は晴れたが気温上がらず、最高気温は平年より低い所多い。



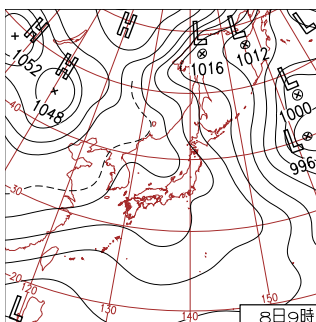
6日(金) 「寒の入り」

関東以西は風が弱く、放射冷却により朝は冷え込み、日中も気温は平年以下。北海道は低気圧が持ち込んだ暖気のため朝の気温は3月中～4月下旬並、日中も平年より高め。



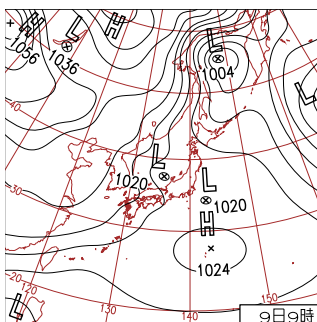
7日(土) 冬型の気圧配置強まる

北海道日本海側～山陰では降雪続き、岩手県西和賀町湯田で日降雪量41cm。本州の太平洋側は晴れて乾燥。横浜市のイロハカエデ、平年より11日遅い落葉。



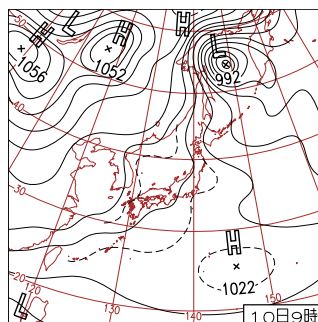
8日(日) 太平洋側の乾燥続く

北陸～北日本日本海側では曇りや雪で、午後は晴れ間も。南西諸島は曇りや雨。他は概ね晴れ。最高気温は、全国的に平年並の所多いが、西日本や南西諸島では3月並の所も。



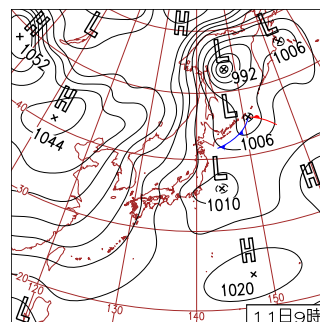
9日(月) 穏やかな成人の日

弱い冬型。低気圧に近い北陸を除き、本州付近は風弱く、西～東日本は最高気温が3月上旬並の所も。天気は本州日本海側で雲が広がり所々で雨や雪、太平洋側は晴れ。北海道は雪。



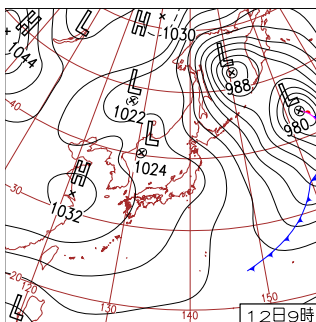
10日(火) 日本海側でも晴れ間

冬型の気圧配置は引き続き弱く、日本海に広がっていた雪雲は次第に縮小し日本海側でも晴れ間、太平洋側は晴れ。北海道は晴れ間も出るが降雪続いて気温上がらず全道で真冬日。



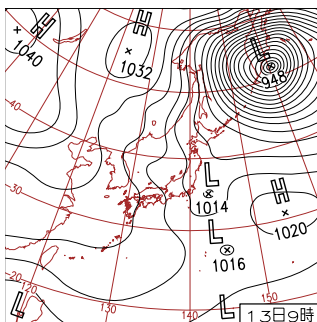
11日(水) 太平洋側の乾燥続く

冬型の気圧配置が強まり、日本海側は雪や雨。関東でも午後弱い雨や雪が降ったが、乾燥注意報解除には至らず、乾燥状態が続く。北海道旭川市江丹別で最低気温-27.2℃。



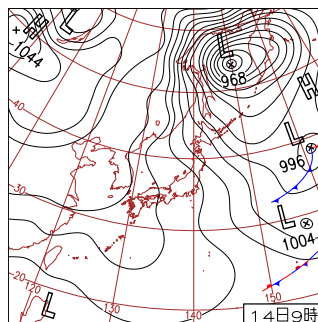
12日(木) 厳しい冷え込み

北日本中心に冬型気圧配置が続く全国的に寒い1日。特に厳しく冷え込んだ北海道～東北北部にかけては最高気温が氷点下の真冬日となり、北海道陸別で最低気温-29.1℃を記録。



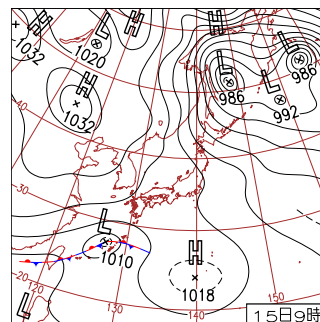
13日(金) 発達した低気圧948hPa

千島付近に発達した低気圧があり、日本付近は冬型の気圧配置が強まる。最高気温は近畿、関東甲信を除いて平年より低め。京都市では平年より46日早いタンポポ開花。



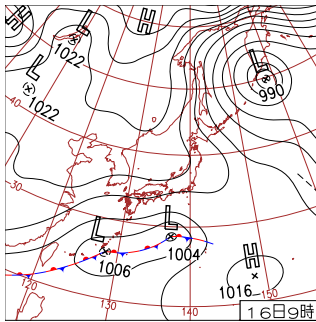
14日(土) ふぶきのセンター試験

冬型が強まり、北陸や北日本日本海側はふぶき。新潟県妙高市関山で2日連続日降雪量40cm台。西日本は寒さと和らぐが、東～北日本は日中も冷え、北海道は最高気温-5～-10℃。



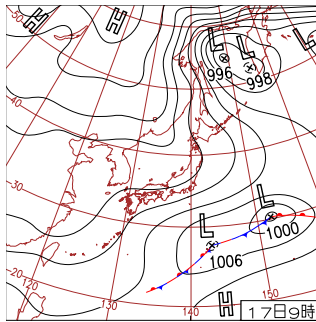
15日(日) 南北の温度差くっきり

北海道では陸別の最低気温-28.2℃など厳しい冷え込み。九州～北海道の最高気温は平年をかなり下回る所もあるが、沖縄は暖気入り、宮古空港で最高気温26.5℃など各地で夏日。



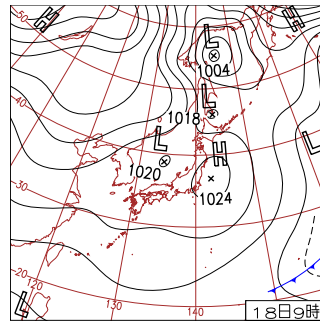
16日(月) 太平洋側で雨

冬型の気圧配置や南海上の低気圧の影響により全国的に雲が広がり、太平洋側は久しぶりの雨。日差しが無いため日中も気温は上がらず平年以下。北海道陸別では最低気温-28.6℃。



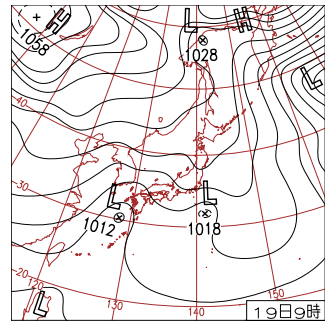
17日(火) 流水とサクラ

低気圧の影響で朝にかけて四国から関東で雨または雪、山梨県河口湖で積雪11cm。北海道網走で平年より4日早く流水初日、南大東島で平年より3日早くヒカンザクラ開花。



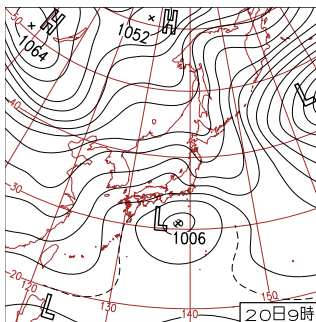
18日(水) 穏やかな晴天広がる

日本海側の一部を除き移動性高気圧に覆われ広く晴れる。全国的に朝は冷え込んだが、最高気温は平年より高い所多く、3月上・中旬並の所も。



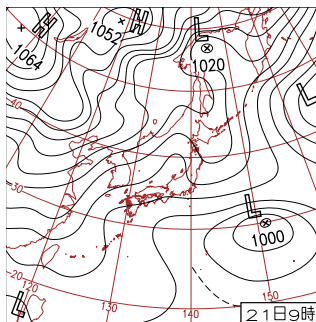
19日(木) 西から雨の地域広がる

低気圧の影響で、朝から雲の広がった西日本は昼には全域で雨。夕方からは東海～関東でも雨や雪となり、連日の乾燥状態は徐々に解消へ。北日本は日中中心に広く晴れ。



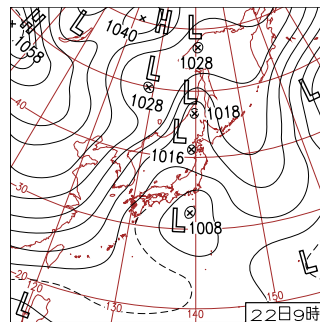
20日(金) 東京、遅い初雪

東京で平年より17日、横浜で平年より13日遅い初雪。関東は気温上がらず熊谷など各地で積雪。北日本は冷え込み青森県黒石の-15.9℃は歴代1位。北海道旭川市江丹別-30.3℃。



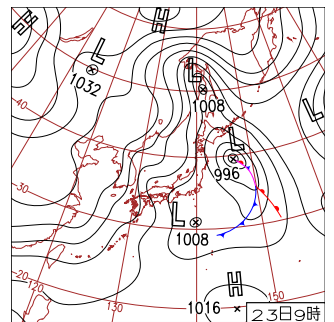
21日(土) 「大寒」らしい寒さ

曇天で朝の冷え込みが弱く最低気温は平年より高めだが、日中も雲が多く東日本太平洋側や北日本の最高気温は平年以下の寒い一日。東京都三宅島坪田で45.5mm/1hの激しい雨。



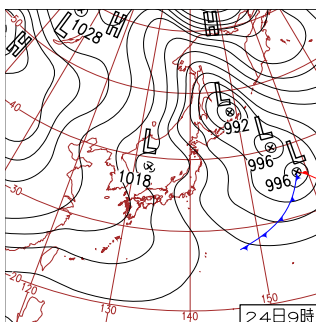
22日(日) 北海道太平洋側で大雪

気圧の谷や寒気の影響で全国的に曇りや雨または雪。北海道太平洋側は湿った雪による大雪。北海道登別市札内町で22日12時までの24時間降雪量51cm。那覇市ヒカンザクラ開花。



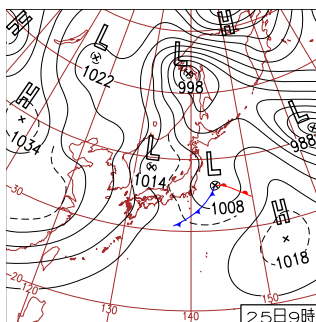
23日(月) 関東南部で積雪

朝の最低気温は平年並の沖縄を除いて全国的に平年より高めで、特に北海道では3月中～4月中旬並。関東南部は、雨が夜には雪に変わり千代田区大手町で積雪の深さ4cm。



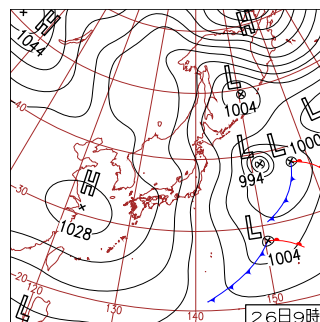
24日(火) 東京近郊 朝の足乱れる

日本海の低気圧の影響で山陰～北陸は降雪強まる。最高気温は西日本や関東の多くの地点で平年より4～6℃低い。東京近郊は積雪後路面が凍結し、スリップ事故等の報告相次ぐ。



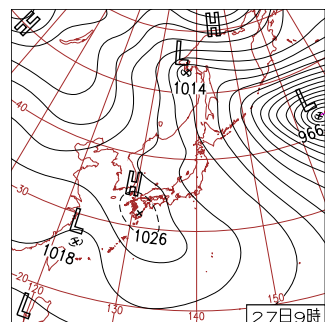
25日(水) 東京今季初の冬日

太平洋側は広く晴れて冷え込み最低気温は東京で-0.1℃、横浜で-0.4℃とこの冬最初の冬日。日本海側では大雪となり日降雪量は福井県大野市九頭竜68cm、岐阜県白川村54cm。



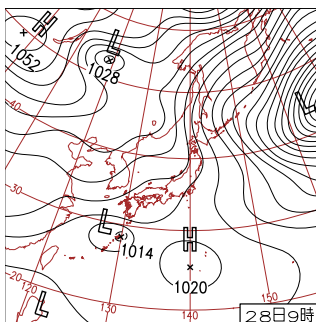
26日(木) 大雪と寒さ

強い寒気の影響で日本海側は大雪。長野県飯山と野沢温泉で日降雪量62cm。日中も気温は上がらず、927地点中376地点で真冬日。北海道占冠で最低気温-31.4℃。



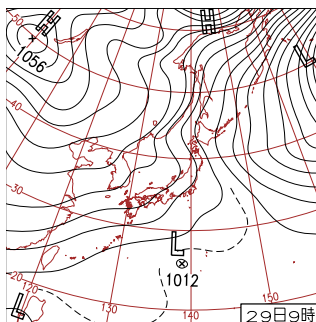
27日(金) 冬型は峠を越す

日本海側では降雪継続し、北海道新篠津の日最深積雪182cm。太平洋側では冷え込み、福島県玉川で観測史上最低の-10.1℃、また千代田区大手町でも-1.0℃の今季最低を観測。



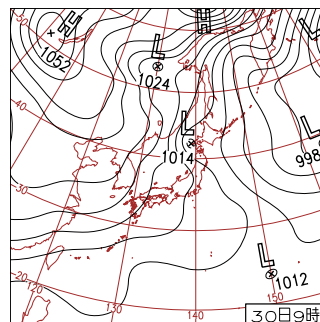
28日(土) 山梨県で震度5弱

朝の最低気温、北海道の4観測所で-30℃以下、占冠では-31.2℃。青森市酸ヶ湯で、今季全国で初の積雪の深さが4mを超える。山梨県富士河口湖町等で震度5弱。



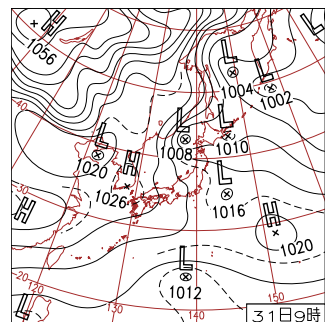
29日(日) 寒気の流入続く

強い冬型。東日本～東北太平洋側で風強く波高い。北海道厚沢部町鶴や秋田県大館で最低気温の観測史上1位更新等、北日本中心に厳しい冷え込み続く。山梨県大月市で震度4。



30日(月) 東北中心に冷え込む

岩手県の3地点で最低気温が平年を10℃以上下回り紫波-16.4℃は観測史上1位など厳しい冷え込み。最高気温は近畿～東北で平年より低い。宮古島と名瀬でヒカンザクラ満開。



31日(火) 雪と寒さが続く

北陸中心に日本海側で雪が続き、1月の積雪の深さが平年の2倍以上となった所も。寒気の流入続き気温が上がらず、北日本は日中も氷点下。冬日804地点、真冬日333地点。